

年忘れワールドフェスティバル

フレンドシップ、日本語教室、ポルトガル語、フェスタ・ジ・フィナウ・ジ・アノ、魅惑のワールドダンスの5部会・サークルが共同で企画し、運営しました。

私たちのまちには、多くの外国人が住んでいます。その中でも、ブラジル人が最も多く見受けられます。そこで、ブラジル人と友好を深めるとともに、お互いのことをもっとよく知ろうということで、1999(平成11)年から毎年12月にブラジル風の年忘れフェスティバルを開催してきました。今回は、12月15日(日)午後1時から勤労福祉会館大研修ホールで開催し、日本人151人、外国人113人の総勢264人の参加者がありました。今までの同種のイベントでは最高の記録でした。皆さん、ご協力ありがとうございました。

情熱的なサンバエストレラ

プログラムのオープニングを飾ったサンバエストレラは、前回に引き続いての出演でした。2人の魅惑的なダンサーと10人近い子供を交えたメンバーが生バンドのリズムに乗って、本場ブラジルのサンバを踊りました。日本人にステップを教え、いつの間にか全員が会場狭しとばかり情熱的なサンバのとりこになってしまいました。

ペルーの皆さんが大活躍

昨年11月に結成したラテンアメリカサークルのペルーの皆さんが積極的に参加し、このフェスティバルを盛り上げました。特にペルーのダンスは衣裳もすばらしく、フラメンコの皆さんもアマチュアとは思えないほどの出来栄でした。また、手づくりによるペルーのお菓子と飲み物の差し入れがあって、会場のムードは一段と盛り上がりました。



ペルーのダンス

仮装コンテストは12人が入賞

自由参加のため低調気味だった仮装コンテストも、今回は趣向を凝らした仮装が多く、審査が大変だったようでした。怪傑ゾロにふんじたペルーのアチング・フォルフェさんはじめアンパンマン、年増のクーニャン、ベッカム選手など12人のかたが入賞しました。



フラメンコの皆さん

豪華賞品?に一喜一憂

お米や羽毛布団、フランス製スプーンセットなど数々の高級品が当たる福引きは、全員分の品物が用意してあり、賞を発表する度に歓声があがったり、ため息が漏れたりしました。フェスティバルのフィナーレにふさわしいプログラムでした。



サンバエストレラ

歳末助け合い募金運動に協賛

会場入口に設置した募金箱に、皆さんの善意により、4,167円という浄財が入っていました。翌日、愛知県共同募金会豊川市支会(豊川市社会福祉協議会内)に寄託しました。

今後の展望

年々増え続ける外国人(豊川市の場合3,919人で、人口の30人に1人が外国人)は、日本人との交流を望んでいるものの、言葉、生活、教育、医療の各方面で悩みを持っています。交流から共生への対応——、行政はもちろんのこと、私たちボランティアに課せられた重大な使命ではないでしょうか。日本語教室の会場の充実、外国語講座の充実、ボランティア通訳の養成、外国人相談員の確保など知識と経験を生かして、さらなる努力を重ねていこうではありませんか。



フォークダンス

小柳津えみ行政書士事務所

入管手続・帰化申請・内容証明
遺言書・相続手続・許認可申請

豊川市御油町栗木山152
TEL 0533-80-1801
FAX 0533-80-1802
E-mail emi@fb3.so-net.ne.jp

世界の旅 パッケージツアー
航空券・海外ウエディング
国内の旅 旅館・ホテル・観光バス
個人から団体まで
JTB かわしんグループ
ジェイティービー代理店



豊伸トラベルサービス

営業時間 土・日も営業 豊川市諏訪3丁目302(プリオ 1階)
AM10:00~PM8:00 0120-857716
(0533)89-7716 FAX89-8233